

令和3年3月10日

足立区立湊江小学校
学校長 向山 敦子 様

足立区立湊江小学校開かれた学校づくり協議会
会長 大西 るり子

令和2年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため5月まで休校となり、学校再開後は「新しい生活様式」に対応しながら、学習計画の見直しや行事の中止や変更など大変であったと思う。制限のある中でも学校全体で児童の「学力向上」、「健康な心身の育成」のため熱心に取り組んでいる姿勢はおおいに評価できる。「笑顔あふれる湊江小」の目標のもと、協議会としても引き続き「湊江の子供たちのため」に学校、保護者と連携・協力をしていきたい。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

【学力向上】

全校で基礎基本の定着、学力向上に向けた取り組みをコロナ禍の中、やるべきことを丁寧することを意識して日々授業改善しながら行っていることを評価したい。基礎的な内容の定着が不十分な児童に対しては個別に向きあい大きな成果をあげている。学校全体で確実に成果は上がっているが区の学力調査の目標に達しなかった学年もある。分析をし、今後の取り組みを明確にしているので期待したい。

【健康な心身の育成】

来校した際、元気よく挨拶をする児童が増えてきている。あたたかな人間関係を育む挨拶を今後とも指導していただくとともに、協議会としても協力したい。

いじめの根絶・不登校解消のため、関係機関と連携しながら課題に組織で取り組んでいる。いじめ解消率を100%にしたことはすばらしい。相手を思いやる心の教育を続けてほしい。

コロナ禍の中、保護者による学校評価アンケートの「児童の様子」の肯定的評価が96%、また、児童アンケートでも「笑顔で生活できている」など肯定的な回答が大部分であった。「当たり前のことを当たり前にする」ことを大切にされた指導の結果だと感じる。今後も日々の様子やアンケートなどもふまえて細やかな指導をお願いしたい。

【家庭・地域との連携】

学力向上、健康な心身の育成には家庭との連携は重要である。家庭には学習習慣の確立のための働きかけや正しい生活習慣の取り組みなどの大切さを認識して協力いただきたい。学校から今後も地道な発信をお願いしたい。

道徳地区公開講座は一斉の授業公開ができない代わりに保護者、地域を対象に授業を体験させていただいた。とてもわかりやすく引き込まれた。また、幼保交流で1年生がビデオを作り学校紹介するなどコロナ禍で連携が難しい中、工夫した取り組みがされている。

開かれた学校づくり協議会の行事が中止となり、「花いっぱい活動」のみ児童と共に活動できた。しかし、その他「ビオトープ」づくりなど、協議会として児童、保護者と直接接する機会がなかったのがとても残念だった。

3. その他

展覧会は湊江小学校全児童のパワーを感じた。6年生の大きな共同作品は子供たち同士が話し合いを重ね協力して作り上げたものと伺った。いろいろな行事が中止、縮小になる中、児童が主体的に完成させた経験は大きな心の成長につながったと思う。

湊江小学校の特色である伝統文化教育については、勉強や運動以外でも児童が活躍できる場と考え、児童のやる気を引き出す選択肢として今後とも継続していただきたい

令和3年度に湊江小学校は120周年を迎える。学校・地域をたくさん知る良い機会である。今年度は地域に出かけることや協力を得たりすることが難しかったが「地域の中の湊江小学校」としてできるかぎり今後とも活動していただきたい。